



International Climate Policy

國際氣候政策



各地のCANメンバー





Climate Action Network (CAN) is the world's largest network of civil society organizations working together to promote government action to address the climate crisis. It has more than 850 members in over 100 countries.





A Copenhagen Climate Treaty

Version 1.0

A proposal for an amended Kyoto Protocol and a new Copenhagen Protocol
by members of the NGO community





Wake Up
10:18

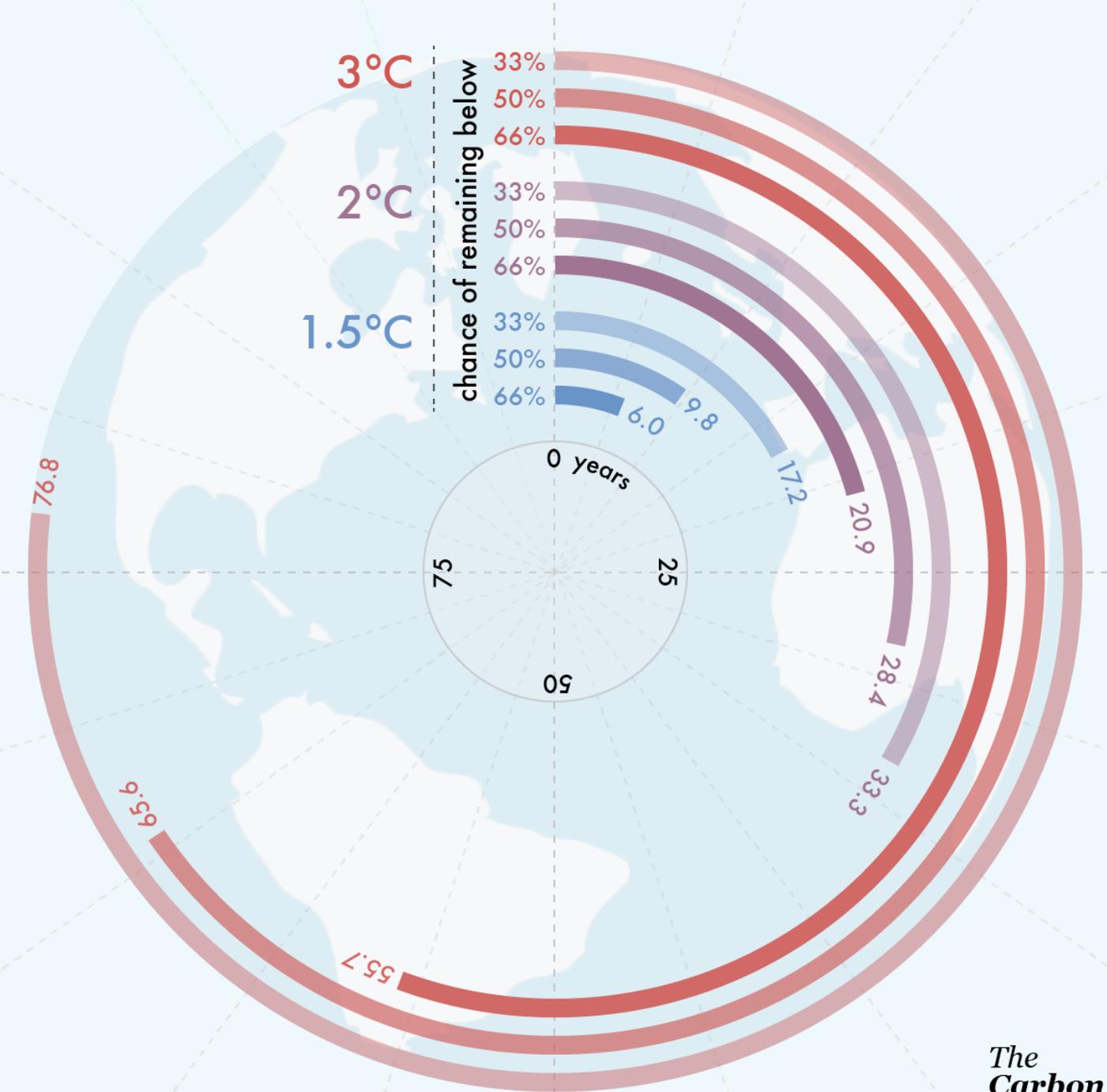




COP21の長期的な排出削減に関する成果

工業化前からの地球平均気温上昇を 2°C より十分下回る水準に抑制することと、気温上昇を 1.5°C 未満にする努力を追求すること

今世紀後半中に、温室効果ガスの人為的な排出と人為的な吸収の均衡(実質排出ゼロ)を達成する

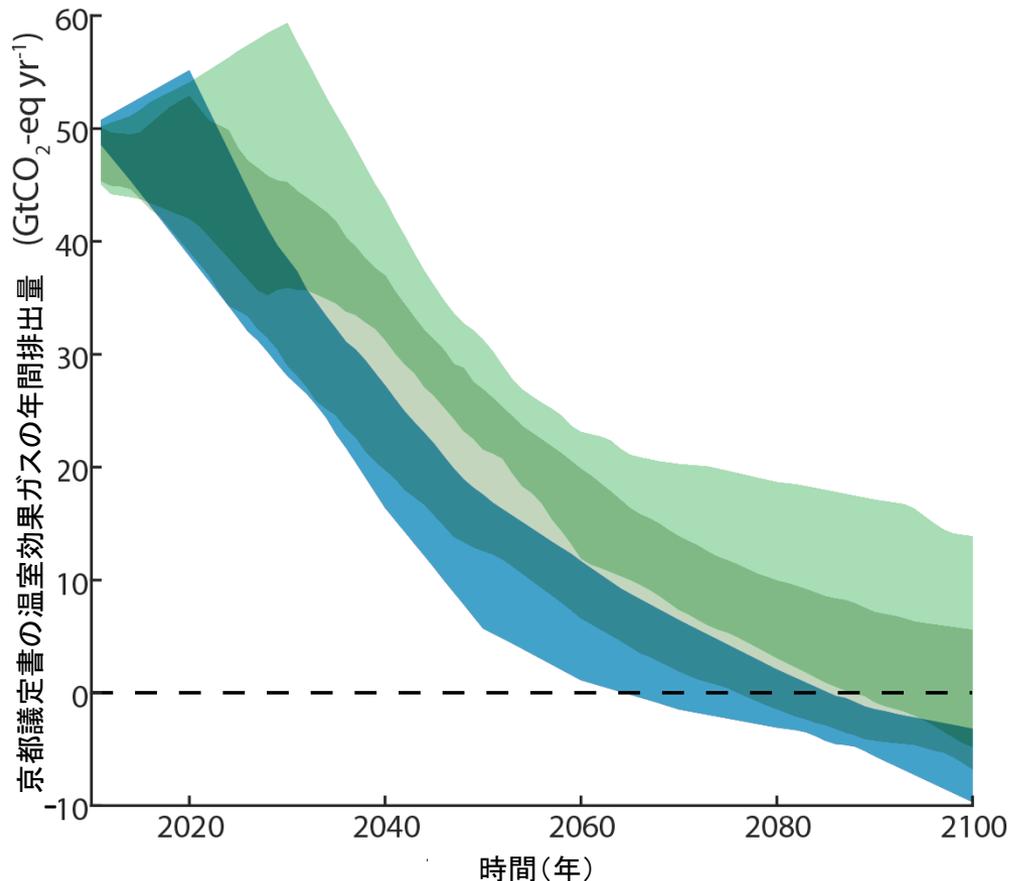


<http://bit.ly/carboncountdown>

1.5°Cと2°Cの排出削減努力

世界全体の排出削減経路

→1.5°C未満または2°C未満に抑えられる可能性のある排出削減経路の範囲は重複している



- 2100年に中程度の確率(50-66%)で気温上昇を2°C未満に抑えられる
- 2100年に高い確率(> 66%)で気温上昇を2°C未満に抑えられる
- 2100年に50%より大きい確率で気温上昇を1.5°C未満に戻すことができる

急速な削減の引き金をひく

資金の流れを変える – IFIs、G20、国家予算審議、健全な投資環境創出の場で、化石燃料から再生可能エネルギーへ「巨額の資金を転換する」という議題を設定する

長期戦略 – 2020年までに全ての国が2050年に向けた脱炭素化計画を提出する

促進的対話/グローバル・ストックテイク – 2018年は、再エネの大躍進をうけてパリ協定の仕組みが機能するかを示す最初の実験場である

2020年までの対策強化 – 気候変動枠組条約におけるアクション・アジェンダ、短期寿命気候汚染物質 (SLCP)、ICAO/IMO、非国家ステークホルダー

気候を守る国連機関 – 気候変動の影響に対処するという目的に合致しているかどうかについてよりしっかりと議論できるようにする

マラケシュの成果(1)

アクションのCOP:

- マラケシュ行動宣言
- 世界気候行動のためのマラケシュ・パートナーシップ
- 2050排出削減経路・プラットフォーム
- 国別目標パートナーシップ
- グローバルな再エネ・エネルギー効率パートナーシップ
- 気候脆弱国連合のビジョンとコミュニケ:
 - 2020年以降の国別目標を上方修正する
 - 2020年より前に長期戦略を策定する
 - 遅くとも2050年までに再エネ100%を実現するよう取り組む

マラケシュの成果(2)

COP決定:

重要論点

- ルールブック合意期限は2018年
- 2018年の促進的対話についてはさらに理解を深める(COP22議長とCOP23議長による協議を行う)
- COP23でパリ協定締約国会議を再開する

その他の論点

- 適応基金
- 損失と被害に関するワルシャワ国際メカニズム

今後の課題

2018年は次に来る重要な政治的なタイミング

- 2018年促進的対話は成果を出す必要がある
- パリ協定のルールブックを完成させる必要がある
- 2018年促進的対話の成果を左右する鍵は2017年の作業にある
- 多くの国々が2020年より前に国別目標を上方修正することをめざしている
- 次のようなタイミングに向けてモメンタムを高める必要がある:
 - 2017年のG20とCOP23の役割
 - 気候脆弱国連合が首脳サミットを2018年7月頃に開催予定
 - 2018年中頃にカリフォルニアで非国家主体のサミットが開催される
 - IPCCが1.5°Cに関する特別報告を発表

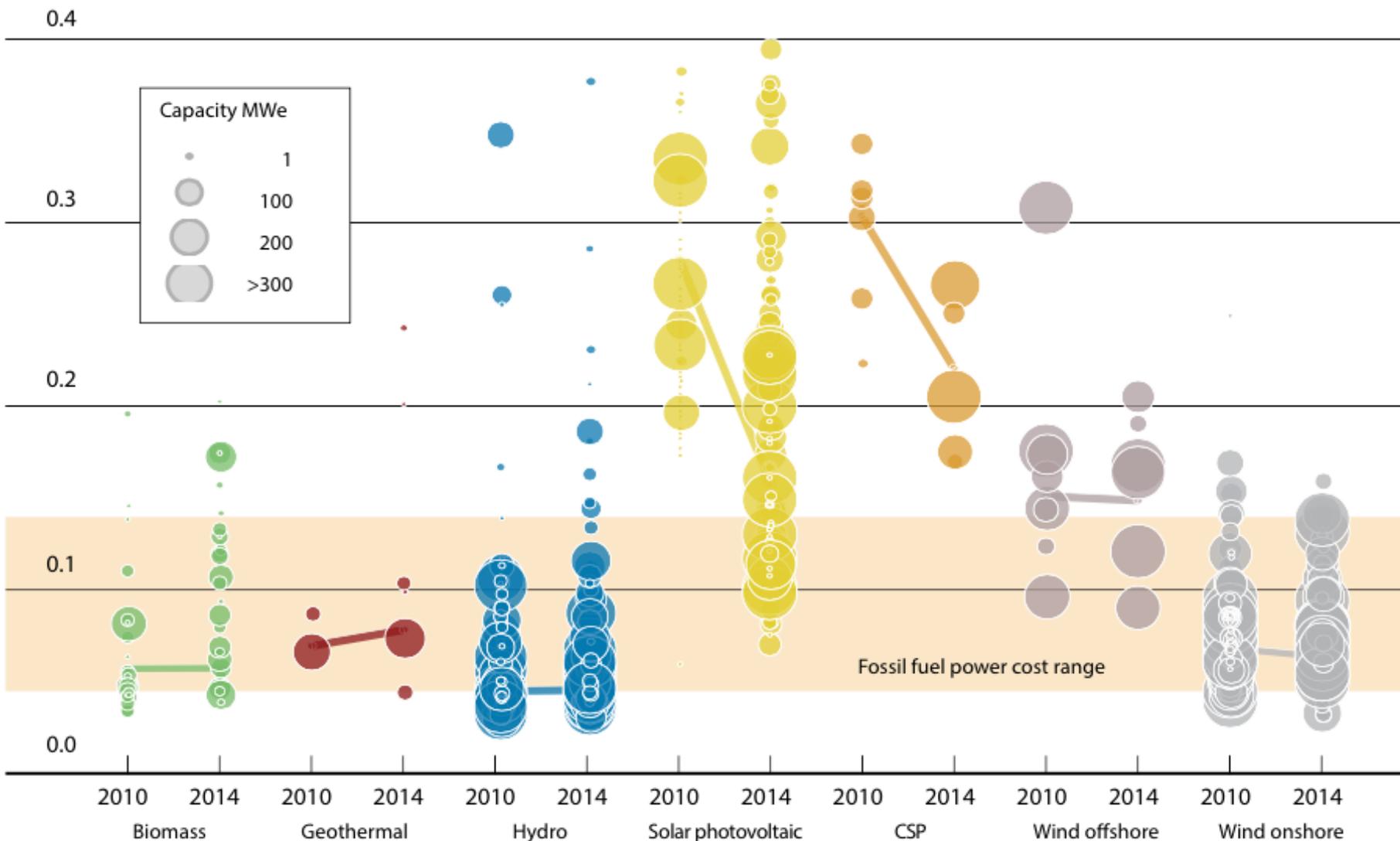
2050年までの排出削減経路：長期戦略

- 長期戦略は、温暖化対策の計画とみるべきではない。むしろ、持続可能な発展の計画とみるべきである。
- 長期戦略は、モデリング演習であるべきではない。グローバルな目標を達成するため、詳細に部門ごとの大転換を図る戦略でなければならない。
- 社会的、政治的に積極的な参加を得るためには国民的な対話が必要である。
- パリ協定の長期ビジョン/目標に沿うものであるべきである。



FIGURE E5.1: THE LEVELISED COST OF ELECTRICITY FROM UTILITY-SCALE RENEWABLE TECHNOLOGIES, 2010 AND 2014

2014 USD/kWh

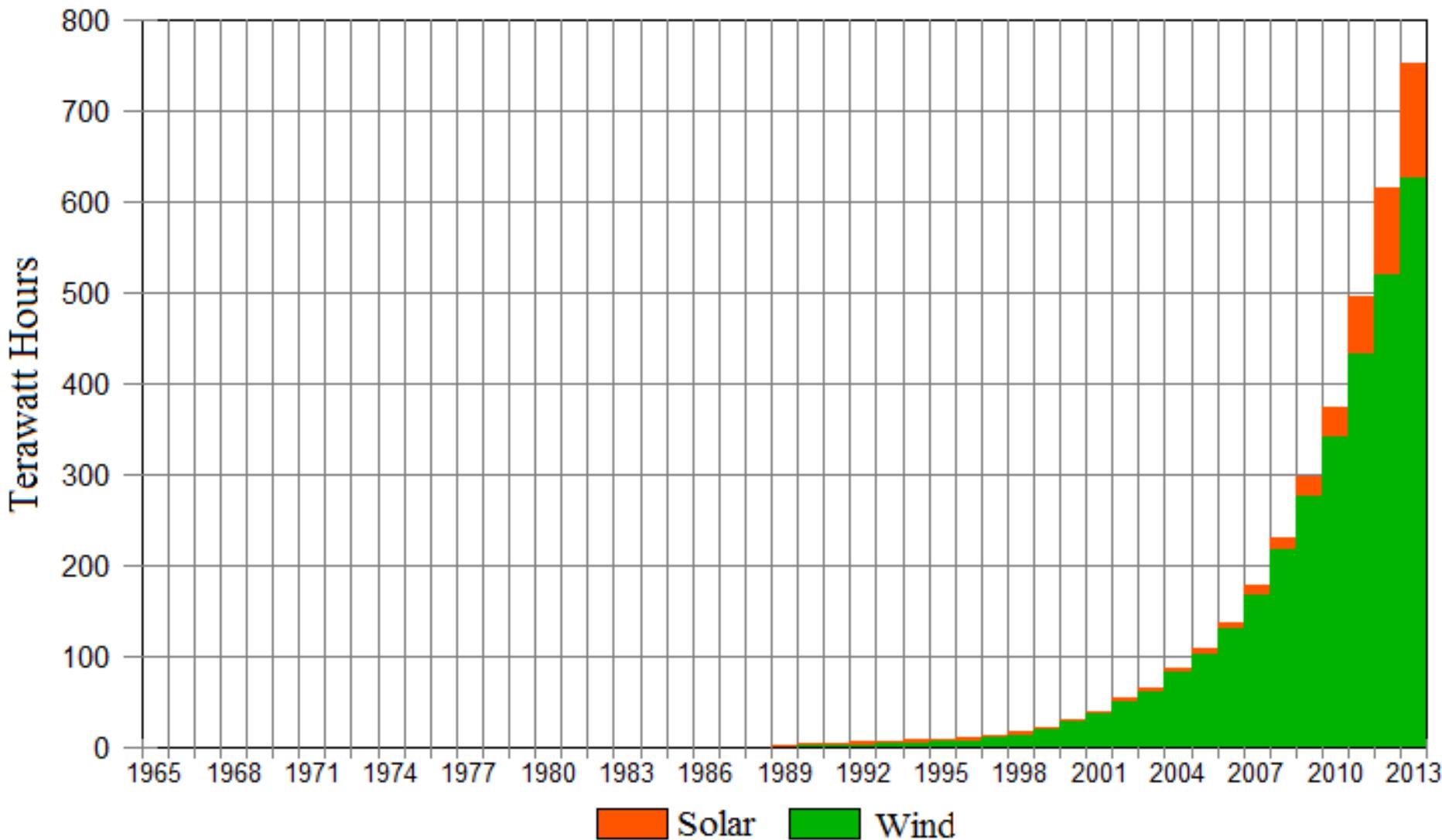


Source: IRENA Renewable Cost Database.

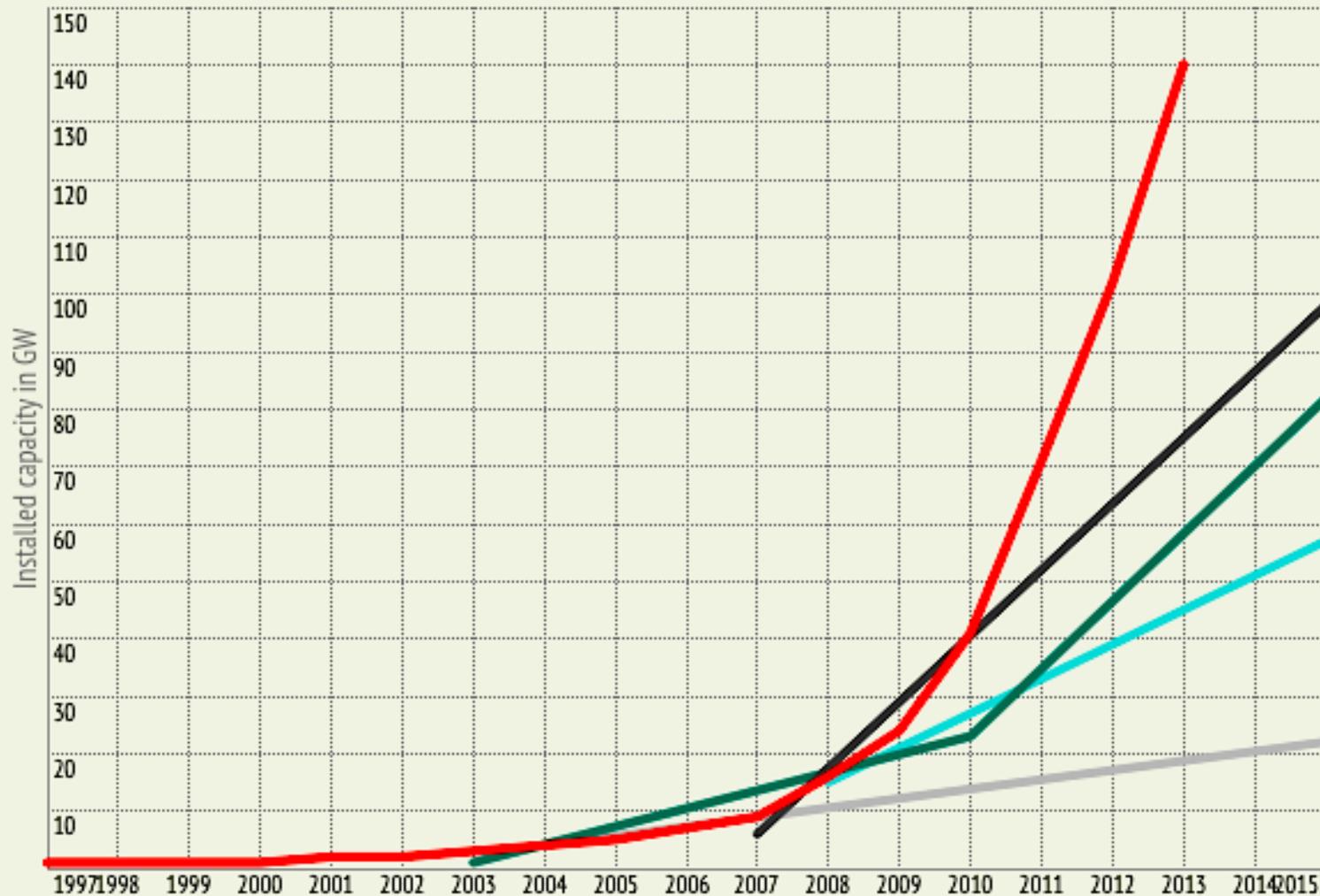
Note: Size of the diameter of the circle represents the size of the project. The centre of each circle is the value for the cost of each project on the Y axis. Real weighted average cost of capital is 7.5% in OECD countries and China; 10% in the rest of the world.







Cumulative installed solar PV capacity: Global



IEA - WEO 2006 (Alternate)

IEA - WEO 2010 (New Policy)

Greenpeace 2007-Energy Revolutio...

Greenpeace 2010-Energy Revolutio...

Actual

47 DEVELOPING COUNTRIES COMMIT TO 100% RENEWABLE ENERGY



IKEA **IKEA**





ご清聴ありがとうございます